

日本教材学会 第38回研究発表大会

2026年10月17日(土)・18日(日)

会場：聖徳大学 7号館（千葉県松戸市岩瀬 550）

日本教材学会は「第38回研究発表大会」を、2026（令和8）年10月17日（土）・18日（日）の2日間、千葉県松戸市の聖徳大学を会場として開催いたします。実りある大会となりますよう、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

日本教材学会 第38回研究発表大会実行委員会 委員長代理 腰川 一恵

① 開催概要

日時	2026年10月17日(土)～18日(日)
会場	聖徳大学 7号館 千葉県松戸市岩瀬 550 https://www.seitoku-u.ac.jp/access/
主催・共催 後援	主催：日本教材学会／共催：聖徳大学 後援（予定）：千葉県・松戸市・柏市・我孫子市・流山市の各教育委員会

② 大会参加費

区分	事前申し込み (9月18日まで)	当日参加
会員	3,000 円	4,000 円
非会員	4,000 円	5,000 円
学部生・院生／千葉県内の学校の教員 (会員・非会員問わず)	1,000 円	1,000 円
情報交換会（1日目 17:30～19:00）	6,000 円	
発表要旨集 書籍版（希望者のみ）	1,000 円	

※ 受付混雑緩和のため、9月18日（金）までにお申し込み・お振込みをお願いします。事前受付後にご欠席された場合の返金はありません。

※ 発表要旨集はデータ版を参加者へ配信します。書籍版・情報交換会をご希望の方は申し込みの際にお知らせのうえ、参加費と合わせてお振込みください。

※ 学部生・院生、千葉県内の学校の教員には、発表要旨集の書籍版を当日無料にてお渡しします。

③ お申し込み・お振込

 スマホで読み取り	☆ お申し込みはこちらから ☆ https://forms.gle/Du61m4tWTtYkBcvT6	☆ 参加費のお振込口座 ☆ 【ゆうちょから】〔記号番号〕00130-3-405079 【他行より】ゆうちょ銀行（金融機関コード：9900） 〇一九店（ゼロイチキュウ：019）当座 0405079 口座名義：日本教材学会（ニホンキョウザイガッカイ）

④ 大会日程

1日目 10月17日(土)		2日目 10月18日(日)	
9:00～	受付	9:15～	受付
9:30～11:30	自由研究発表①（各会場） 各発表 25 分 × 4 / 発表 20 分 + 質疑 5 分	9:30～11:00	研究プロジェクト（各会場） 4 プロジェクト / 各 90 分
11:40～12:25	理事会	11:40～12:10	関東・甲信越支部総会（30 分）
13:15～13:30	開会式・「学会賞」表彰式	12:20～14:50	自由研究発表②（各会場） 各発表 25 分 × 5 / 発表 20 分 + 質疑 5 分
13:30～17:00	シンポジウム（210 分） ※ 関東・甲信越支部研究会との合同開催		
17:30～19:00	情報交換会 10 号館 スパンカ		

※ 会場内で、日本図書教材協会加盟教材会社の教材展示（小・中学校用）を予定しています。

第 38 回研究発表大会 シンポジウム

学校用教材を取り巻く現状とこれからの姿を探る

— 次期学習指導要領の方向性を踏まえて —

2026 年 10 月 17 日（土） 13:30～17:00 / 聖徳大学 7 号館 7308 教室

※関東・甲信越支部研究会との合同開催

趣 旨

学校用教材を取り巻く環境が大きく変化する中、次期学習指導要領に向けて、内容の重点化や「余白」の創出、探究的な学び、デジタル・生成 AI の活用などが議論されています。本シンポジウムでは、基調講演を踏まえ、学校現場や教材作成・販売者が抱える課題、次期学習指導要領の方向性を授業や教材としてどのように具体化し、子どもたちの学びにつなげていくのかについて議論します。また、新たな教材の可能性が広がる中で、教材をどのように捉え、位置付けていくのかについても検討します。当日は登壇者からの話題提供に加え、参加者との意見交換の時間も設け、これからの学校用教材のあり方についてともに考えます。

議 論 の 柱

「様々な教材が共存する中で、これからの子どもたちにどのような力を育てることが大切なのか」を改めて問い直すことを根底に、次の 2 点を中心に議論します。

- ① 学校用教材を取り巻く現状や課題（教材の採択・学習環境を含む）と、それらへの対応について共有する。
- ② その上で、次期学習指導要領の方向性を踏まえ、今ある教材をどのように活用・改善し、これからの教材のあり方をどのように構想していくことが望ましいかを考える。

④ プ ロ グ ラ ム （ 210 分 ）

第 1 部 基調講演

文部科学省 岩岡 寛人 氏 / 60 分

第 2 部 ディスカッション

シンポジスト提案・討論・質疑 / 120 分

総 括

岩岡 寛人 氏 / 10 分

13:30～13:35	開会・講師紹介
13:35～14:35	【第 1 部】基調講演（60 分）
14:35～14:45	休憩
14:45～16:45	【第 2 部】シンポジストによるディスカッション・参加者との意見交換（120 分）
16:45～16:55	総括（10 分）
16:55～17:00	閉会あいさつ

登 壇 者

基調講演・総括	岩岡 寛人 氏（文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 学校教育官）
コーディネーター	朝倉 徹 氏（東海大学 教授）
シンポジスト	市川 洋子 氏（日本教材学会会長代行・敬愛大学 教授） 菊地 聖子 氏（松戸市立松ヶ丘小学校 校長）／長澤 佑亮 氏（沼津市立第三中学校 教諭） 芳山 諒馬 氏・梅津 丈暉 氏（埼玉大学大学院教育学研究科）／教材関係者

※ 登壇者は予定です。変更となる場合があります。

参 加 対 象

日本教材学会会員・非会員を問わずご参加いただけます。研究者、教員（小・中・高）、学生・大学院生、教材出版社、教材販売店の皆様のご参加をお待ちしております。※ シンポジウムの様子は、大会終了後に録画配信を予定しています（期間限定・希望者のみの特定配信）。

お申し込み・参加費は表面をご覧ください ▶ <https://forms.gle/Du61m4tWTtYkBcvT6>